

大宮中学校音楽科《第1学年》年間指導計画

音楽科 教科目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

例：「知」は、「知識・技能」、「思」は、「思考・判断・表現」、「態」は「主体的に取り組む態度」

月	単元名等と配当時数	指導目標	指導内容	観点	評価規準
4	音楽の決まりを学ぼう① 校歌を歌えるようになる <4時間> 「校歌」 「リズムドリル」 「音楽の決まり(音符)」	詞の内容や曲想を感じ取り、表現したい思いや意図をもって歌うことができるようになる。	・ 歌詞の内容や曲想を感じ取りながら、思いや意図をもって歌わせる。 旋律 速度 強弱 小学校で学んだ記号 全音符 付点二分音符 二分音符 付点四分音符 四分音符 付点八分音符 八分音符 十六分音符	知 技 態	歌詞の内容や曲想に関心をもち、表現を工夫して主体的に歌う学習に取り組もうとしている。 歌詞の内容や曲想を感じ取り、思いや意図をもって表現を工夫している。 歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的に歌唱の活動に取り組もうとしている。
5 6	音楽の決まりを学ぼう② 「指揮法」 <2時間> 「四季」から春第1楽章 音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう <3時間>	・ 音楽を指揮で表現し、より豊かな音楽表現につなげる。 ・ 歌唱表現の特徴を感じ取ることができるようにする。 ・ 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じ取ることができるようにする。 ・ 要素や構造と曲想との関わりを感じ取って聴くことができるようにする。	・ 音楽を形づくっている要素(音色、旋律など)の動きを知覚させ、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じさせる。 ・ 解釈したり、価値を考えたりして、音楽のよさや美しさを味わわせ、言葉で説明させる。 音色 テクスチャ 旋律 形式	知 思	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ①要素を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じ受けている。 ②曲や演奏に対して根拠をもって自分なりに考え、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。
7	楽曲に応じた発声で混声3部合唱をしてみよう <3時間> 「課題曲」	・ 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした楽器表現を創意工夫して演奏する。	・ 我が国に伝わる伝統的な音楽の曲想や構造について理解し、演奏させる。 音色 リズム 旋律	知 表	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。 楽器の特徴や基本的な奏法を理解し、どのように演奏するか考え、思いや意図をもって演奏する。
9 10	楽曲に応じた発声で混声3部合唱をしてみよう <11時間> 「課題曲」 「自由曲」 争の基本的な奏法を身に付けよう <4時間> 「荒城の月(演奏)」	・ 歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現したい思いや意図をもって歌うことができるようにする。 ・ 曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うことができるようにする。 ・ 声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うことができるようにする。	・ 歌詞の内容や曲想を感じ取りながら思いや意図をもって歌わせる。 ・ 声部の役割を知覚させ、全体の響きを感じ取りながら歌わせる。 音色 速度 旋律 テクスチャ 強弱 構成 和音 rit. a tempo pp ff	知 技 思 態	創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、歌唱で表している。 音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じ受ける。知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもって歌っている。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
11	リコーダー 喜びの歌等、基本的な運指<4時間>	・ 楽曲の雰囲気や味わいを支えている音楽の諸要素を知覚する。	・ 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に楽器の学習活動に取り組ませる。 音色 旋律 構成	知 思	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、楽器で表している。 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に楽器の学習活動に取り組もうとしている。 表現したいイメージを知り、音楽材を知覚し、表現の工夫を見つける。
12	曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう <3時間> 「魔王」	・ 曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する考えを根拠をもって自分で考え、表現する。	・ 曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取るとともに、歌詞をよく読み、情景を想像しながら鑑賞する。 音色 旋律 強弱	知 思 態	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じ受ける。知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽表現を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
1 2	争の音色を聴き、表現の特徴をとらえよう <4時間> 「六段の調べ」 「リズムドリル」	・ 我が国の音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて聞くことができるようにする。	・ 我が国の音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて聞くことができるようにする。 音色 速度 旋律 間 序破急	知 思	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。 音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの動きが生み出す性質や雰囲気を感じ受ける。知覚したこととの関わりについて考える。
2 3	感謝の気持ちを合唱で届けよう <6時間> 卒業式で歌う曲	・ 歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現したい思いや意図をもって歌うことができるようにする。 ・ 曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うことができるようにする。	・ 歌詞の内容や曲想を感じ取りながら思いや意図をもって歌わせる。 ・ 曲種に応じた発声や言葉の特性を感じ取りながら歌わせる。	知 技	創意工夫を生かした表現で歌うために必要な姿勢・発声を身に付け、全体の響きや各声部の音などを聴きながら、他者と合わせて歌唱している。

	君が代 など	かして歌うことができるようにする。 ・声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うことができるようにする。	・声部の役割を知覚させ、全体の響きを感じ取りながら歌わせる。 音色 速度 旋律 強弱	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 感
--	--------	--	---	---